

夢洲・大阪湾のネイチャーポジティブを 推進するために

文・写真 垣井清澄(夢洲生きもの調査グループ)

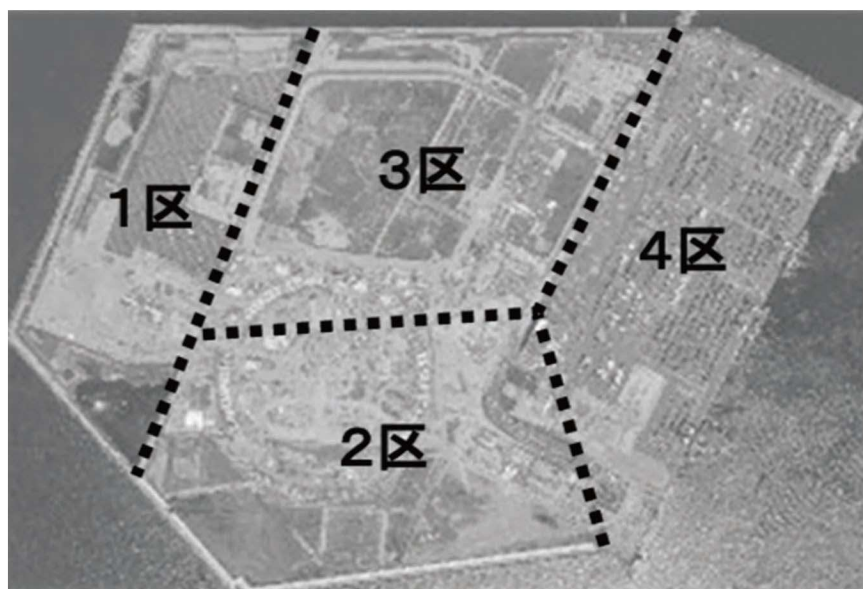


図-1 夢洲の区分(出典「夢洲土地造成事業」2024.11.2大阪港湾局)

現在の夢洲の状況

・夢洲は、南港野鳥園と合わせて今も大阪府の「生物多様性ホットスポット」となっている場所で、特に湿地や干潟を利用する鳥類にとって重要な場所となっていました。

・この夢洲では、2025年10月まで大阪関西万博が開催され、以降はIR(統合型リゾート)や、マスタープランと称される計画によって、国際観光拠点として開発される見通しになっています。

・こうした開発の方向性に対して、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を反映した「生きもの」を保全するレガシーは示されていません。

・夢洲では、かつて夢洲1区(図-1, 西側エリア)でエコポート計画と言う人工干潟を再生する計画が進んでいましたが、今はそれも見直され、国際観光拠点を目指す大きな流れに転換されています。このままでは、夢洲の「生物多様性ホットスポット」は壊滅してしまい、こうした場所が有った事さえ忘れ去られてしまう状況にあります。

夢洲でのアセスメントから 目指す事

・大阪市にはアセスメント制度があり、万博やIRの事業は制度の対象となっていたことから、私たちは、この制度を活用して。これに歯止めをかけるアプローチを試みてきました。

・このアプローチによって、万博のアセスメントでは「市長意見」が示され、「多様な環境を保全・創出する事」とされましたが、これは万博期間中だけの配慮とされ、万博後は最も重要な水辺環境であった「つながりの海」エリア(夢洲2区,図-1)も、埋立てにより壊される事になっており、保全されるべき「生物多様性ホットスポット」が壊されると言う矛盾が起こっています。

・これに対して、IRのアセスメントの「検討結果報告書」の中で、大阪港湾局が、辛うじて夢洲2区の水辺環境の代替として夢洲1区での水辺環境等の再生について検討する事が示されています。

・私たちは少なくとも夢洲1区を拠点とした保全対策は確実に実施される事を求めて行く様に考えています。

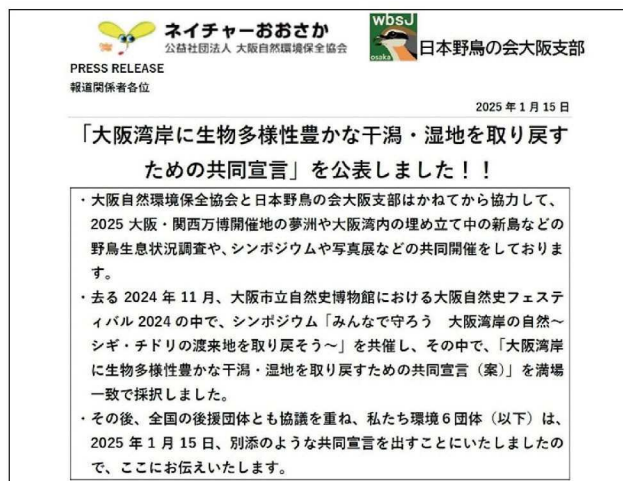


図-2 共同宣言

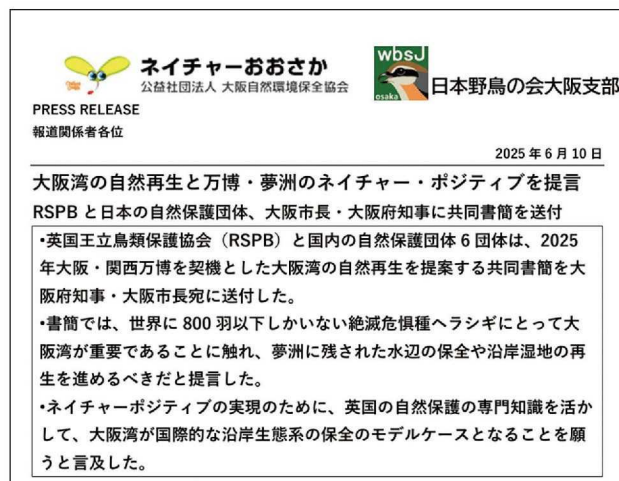


図-3 共同書簡

夢洲を含む大阪湾の ネイチャーポジティブ(自然再興)

・渡りを行う鳥類には、渡りの途上に広い立ち寄り場所(湿地や干潟)が必要です。これらを確保するために私たちは、これまで「共同宣言」(図-2)や「共同書簡」(図-3)を発信して、夢洲を含む大阪湾の自然再興を提案してきました。

・2025年9月に開催した「シンポジウム」(図-4)の後にも、登壇者を含めた大阪市へ表敬訪問を行い夢洲・南港野鳥園を始めとした大阪湾を含めた自然再興についての専門家の協力も申し出ています。

・しかし、大阪市等の行政からは、これらに対する具体的な動きが見えて来ません。

・これらのことから、2025年12月に大阪市に対して、次の3点を示した「要望書」を提出しました。

・1点目は、万博での「鳥類への配慮(ロードマップ)」についての事後調査(モニタリング)による詳細な評価です。万博による影響を明確に評価して、現況調査(万博以前の夢洲の環境)からの影響評価を正確に求めるものです。

・2点目は、「夢洲の多様な環境の保全・創出のための協議体の設

置」です。これは夢洲まちづくりの中で、多様な環境の保全・創出を確実にを行うために、私たちを含めた協議体の設置を求めるものです。

・3点目は、「大阪湾まで広げた自然再興の実現」です。これは大阪湾全体の取組みになるので、大阪市だけではなく、国や自治体なども含めた既存の会議体などを活用する事を求めるものです。

国際的な目標との連動

・ネイチャーポジティブ(自然再興)は、「昆明モントリオール生物多様性枠組み」の取組みであり、2030年までに、陸域と水域の30%を保全地区にして行かないといけません。

・大阪湾の水域で、これらを目指す事は、この地域の各行政の一致した

目標であると考えられます。この目標の実現のためには、行政をはじめとして、政治団体(政治家)、企業(経済界)、市民(NGO、個人)などの多くの主体を巻き込んで流れを作って行かないと進まないと考えます。

・こうしたことから、私たちは「要望書」に基づく大阪市との協議をベースにして、出来る限りの多くの主体とのコミュニケーションを図りながら、大きな流れを作って行きたいと考えています。

・そのためには、「共同宣言」に賛同を頂いた団体や個人、大阪湾再生推進会議の行政等構成組織、夢洲の開発に関連される企業などが、一緒になって行動するような取組みが必要となると考えます。是非、皆さんのご支援をよろしくお願いします。



図-4 シンポジウム